

アクセスガイドの設定方法と活用方法について

・アクセスガイドは iOS の機能で、使用するアプリを 1 つに固定し、画面で指を動かしてホーム画面に戻ってしまうことや、指定した部分へのタッチを無効化することで意図しない広告の表示を防ぐことなどができます。以下にアクセスガイドの設定方法とその活用方法を示します。

初期設定①「設定」を開きます。



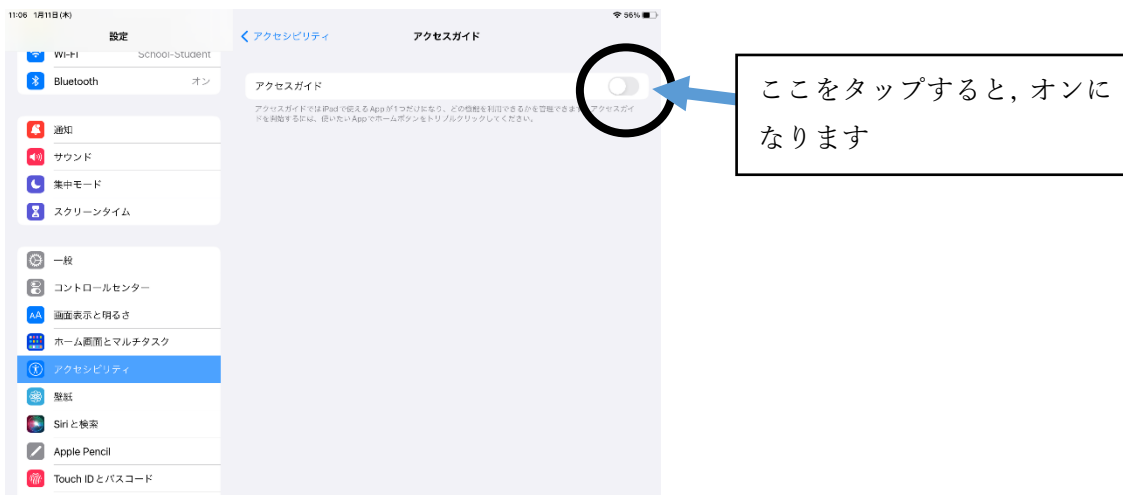
初期設定②左のメニューの中から「アクセシビリティ」タブをタップします。



初期設定③下にスクロールしていき、「アクセスガイド」を開きます。



初期設定④アクセスガイドをオンにします。



初期設定⑤すると、「アクセスガイド」の設定ができるようになります。まず、ショートカットをオンにします。ホームボタンを3回連続でクリックするとアクセスガイドが起動するようになります。



初期設定⑥次にパスコードの設定で6ケタのパスワードを設定します。パスワードは使用者だけが分かる機密性の高いものよりも、誰もがアクセスガイドの終了や設定変更をすることができるように分かりやすいものにするとういです。(例「000000」「123456」など)
以上で設定の準備は完了です。



使用法①ここからが実際の使用方法です。使用したいアプリを開いた後に、ホームボタンを3回連続でクリックすることで、「アクセスガイド」を起動します。



左は例として開いたアプリの画面です。

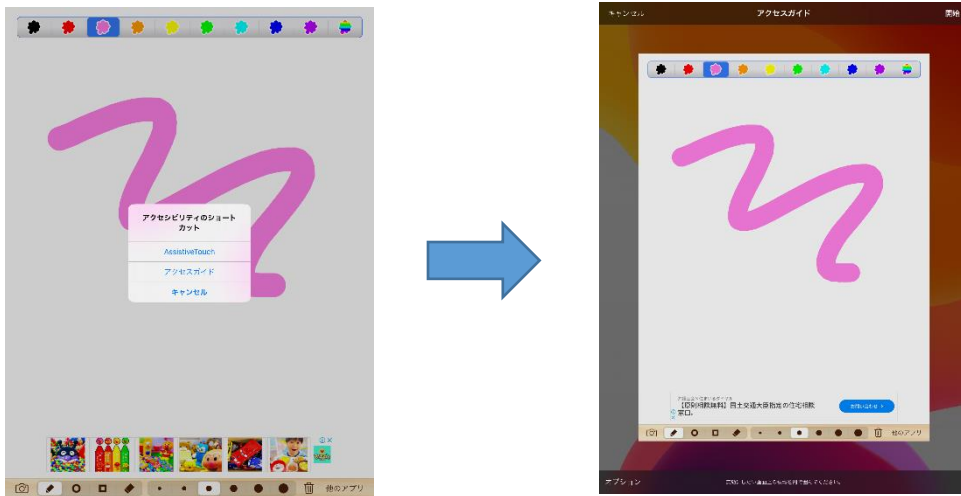
絵を描いている際に、指を動かしてホーム画面に戻ってしまったり、下に表示されている広告に指があたって広告のページに飛んでしまったりすることが予想されます。



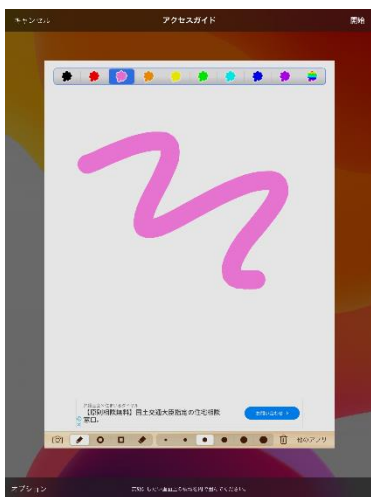
使用法②ホームボタンを3回クリックするとアクセスガイドを設定するか iPad が尋ねてきます。

※画像では、アクセスガイド以外にも他の機能を追加している場合の画面が写っています。

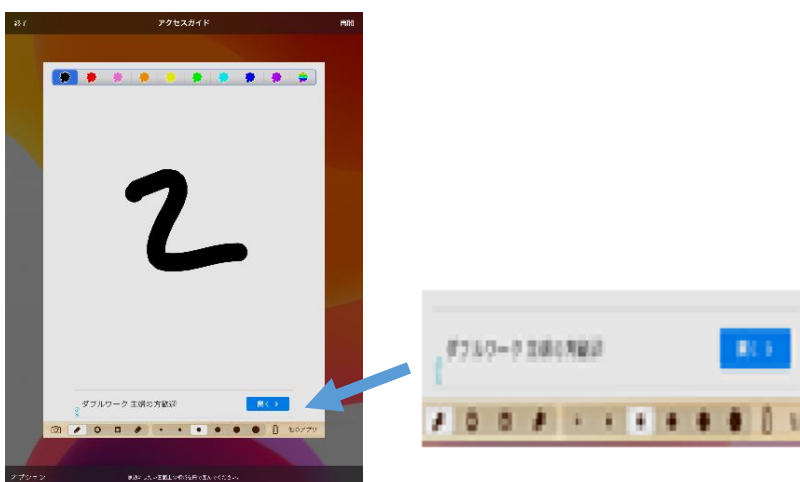
アクセスガイドのみであれば、すぐに右の画像のようになります。



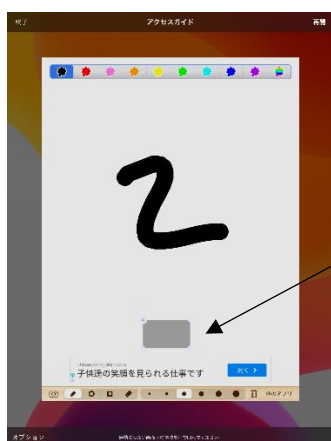
使用法③右上の開始をタップすると、アクセスガイドが開始されます。これで、画面上を指でどんなに動かしてもホーム画面に戻ることはありません。



使用法④もしも画面上に触って欲しくない部分がある場合の例について説明します。

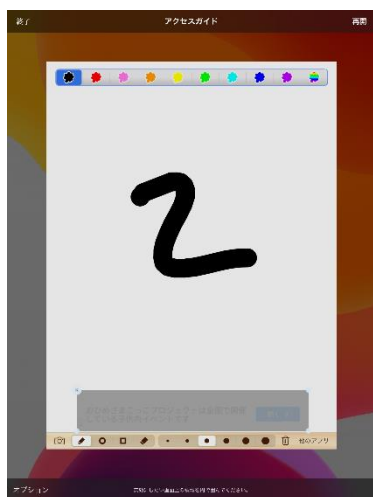


画面内に指で丸や四角を書いてみます。

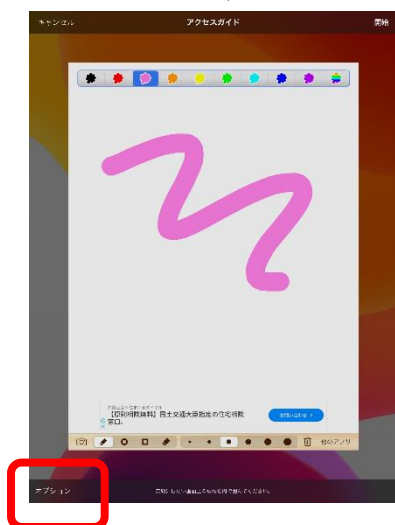


すると、左の画像のように、灰色の図形が現れます。図形は丸型や四角型のどちらかで作ることができます。一つの画面内にいくつでも作ることができます。

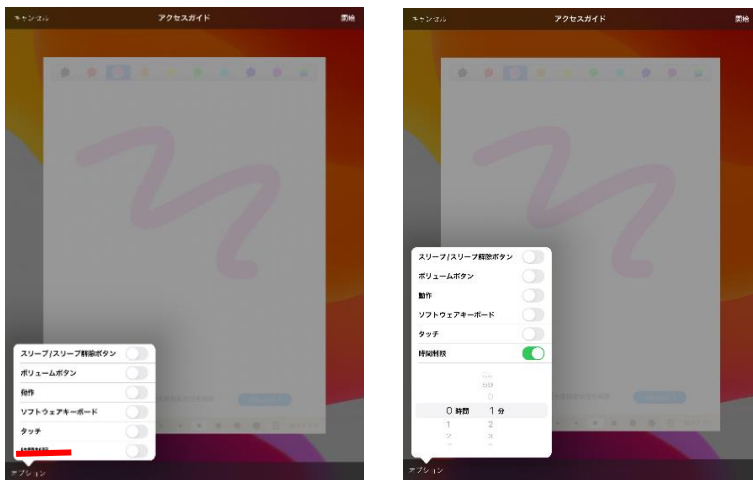
⑤灰色の図形のサイズを変えて、広告部分がかくれるようにします。これで、広告部分をタップしてもリンクサイトに飛ぶことはありません。



⑥次は使用時間の制限について説明します。アクセシビリティガイドの設定画面を左下にオプションというボタンがあるので、そこをタップします。

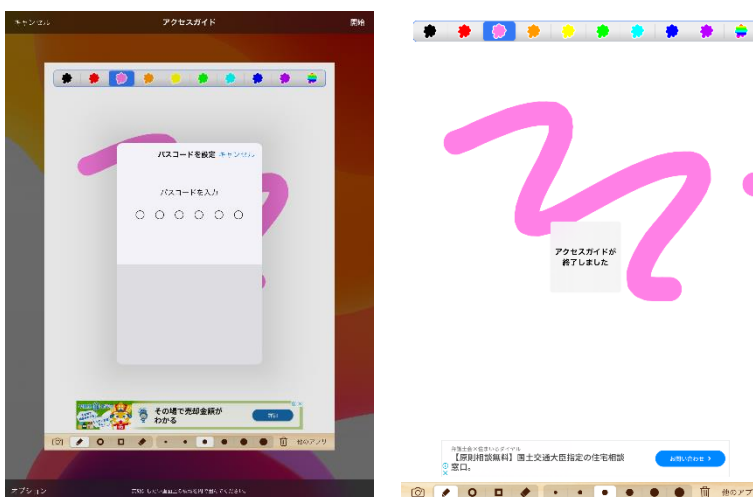


⑦オプションでは、アクセスガイドを起動中に制限する機能について設定することができます。
ここでは、一番下の時間制限のチェックをオンにします。



左のような画面になるので、設定したい時間を決めます。
時間になると iPad が停止し、ホームボタンを3回押さない限り、使うことができなくなります。

⑧最後にアクセスガイドの終了方法です。ホームボタンを3回押すと、パスワードを求められます。
パスワードを入力するとアクセスガイドは終了します。



以上で、使用法の説明は終わりです。児童・生徒やお子様の実態に合わせてご活用下さい。